

平成23年度

高鍋町外部評価委員会

答 申

平成23年10月

高鍋町外部評価委員会

目 次

1. 高鍋町外部評価委員会とは	1
2. 外部評価委員会委員名簿	1
3. 平成23年度高鍋町外部評価委員会による評価実施概要	1
4. 評価対象の事務事業	2
5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時	2
6. 評価結果の概要	3～10
7. 今後の課題と改善への提言及び要望	11～12

1. 高鍋町外部評価委員会とは

各課が実施した事務事業評価（内部による1次評価）の結果について、評価の客観性・公平性・信頼性を高めるために、第三者評価機関として外部評価委員会を設置し、評価を行う。ただし、その事業の継続や廃止、休止等の判断ではなく、町の内部評価に対する外部からの客観的評価と位置づける。

2. 外部評価委員会委員名簿

外部評価委員会は、下記の5名（学識経験者2名、公募委員3名）で構成されている。

【高鍋町外部評価委員会委員】

役職	氏名		任期
委員長	入谷 貴夫	学識経験者：宮崎大学教育文化学部教授	平成23年 9月12日～ 平成25年 3月31日
委員	柚原 知明	学識経験者：宮崎産業経営大学経営学部教授	平成23年 9月12日～ 平成25年 3月31日
委員	徳丸 拓郎	公募委員	平成22年12月 7日～ 平成24年12月 6日
委員	白川 裕子	公募委員	平成23年 9月12日～ 平成25年 3月31日
委員	永友 洋平	公募委員	平成23年 9月12日～ 平成25年 3月31日

3. 平成23年度 高鍋町外部評価委員会による評価実施概要

◎ 対象年度：平成22年度継続事業

◎ 対象数：事務事業8件

外部評価委員5名が、22年度評価事務事業59事業から選択。

◎ 評価手順：

(ア)事務事業の評価表と参考資料を配布する。

(イ)各担当職員が評価表に沿って説明を行う（15分～20分）。

(ウ)質疑応答・意見交換を行う（20分～25分）。

(エ)外部評価シートへの記入により、評価判定及び意見の集約を行う。

4. 評価対象の事務事業

No.	事務事業名	担当課
1	まちなかチャレンジショップ事業	産業振興課
2	地場産業振興対策事業（新商品開発等）	産業振興課
3	高鍋湿原	社会教育課
4	食育推進事業	健康福祉課
5	米沢市・高鍋町青少年少女交流会	教育総務課
6	企業誘致	政策推進課
7	地方バス路線維持事業	政策推進課
8	防災事業	総務課

5. 高鍋町外部評価委員会の開催日時

平成23年度は外部評価委員会を3回開催し、8事業について審議。

その他、町長への答申を行う。

委員会	日時	審議内容等	会場
第1回	平成23年9月12日(月) 15:00~17:30	①事業評価（2事業） ・まちなかチャレンジショップ事業 ・地場産業振興対策事業（新商品開発等）	第2会議室
第2回	平成23年9月13日(火) 15:00~18:00	①事業評価（3事業） ・高鍋湿原 ・食育推進事業 ・米沢市・高鍋町青少年少女交流会	第2会議室
第3回	平成23年9月14日(水) 15:00~18:00	①事業評価（3事業） ・企業誘致 ・地方バス路線維持事業 ・防災事業	第2会議室

【その他】

日時	内容	会場
平成23年10月25日(火) 14:00	町長へ答申書提出	町長室

6. 評価結果の概要

担当課による1次評価（内部評価）をふまえ、外部評価委員会では、その事業の目的及び妥当性や有効性を勘案して評価を行った。その結果については、以下のとおりである。

ただし、評価判定については、事業の方向性や改善点等にも様々な捉え方があるため、提言・提案の形で委員会の意見を集約した。

1	まちなかチャレンジショップ事業		評価判定	
			現状維持	
方向性に関する提言	事業の実施	◎空店舗の調整、入居希望の調整を踏まえ、マッチングを行う必要があるのではないか。	1次評価	外部評価
		◎商店街から最終的に町全体へ活気が広がれば良いと思う。 ◎必要性はあると思う。 ◎この事業を廃止して、他に予算を回してはどうか。	現状維持	現状維持
改善点等の提案	コスト	◎コストを増やして対応した方がいいと思う。	1次評価	外部評価
		◎2カ年限度であと4、5店舗程度であれば現状維持、その後段階を踏み、縮小してはどうか。	現状維持	現状維持
		◎目標や活動量が予め立てられているはずなので、成果指標と活動指標を記入してもらいたい。 ◎まちなかチャレンジショップ事業の目的は、商店街の空き店舗の有効利用だが、店舗の自立化に向けた支援が基本でなければならぬと感じる。補助金の支給は手段であって目的ではない。今後における運営の在り方については、成果や実績の推移を踏まえながら改善を検討いただきたい。 ◎店舗利用の申請は商工会が行う事だが、町の審査が必要だと思う（町民のニーズに合った店の選定等）。業種が同じ所が多くなってもいけないと思うし、経営主旨を含めた判断が必要だと思う。 ◎もし、経営を始めるとした時に、この事業の有無を知っているか知らないかで経営者の負担が全然違ってくると思うので、周知が必要だと思う。		

2	地場産業振興対策事業（新商品開発等）		評価判定	
			拡充	
方向性に関する提言	事業の実施	<p>◎アイデアコンテスト等を開催すると色々見えてくる物があると思う。</p> <p>◎拡充を望むが、それに応ずる人が十分にいるかどうかの問題だと思う。</p> <p>◎高鍋を元気に出来るこの事業は、大事だと思う。</p>	1次評価 現状維持	外部評価 拡充
	コスト	<p>◎フードシステムを核とした地域経済循環を作り出すことは、高鍋町経済のさらなる発展にとって大変重要なことだと思われるので、予算の拡大を伴う事業の拡大をしてもらいたい。</p>	1次評価 現状維持	外部評価 拡充・現状維持同数
改善点等の提案	<p>◎1事業者が複数回補助を受けられるようにしていただきたい。</p> <p>◎高鍋町の農畜産物を加工・販売して外貨を獲得する（域外への販売）ために、この事業を一層革新してもらいたい。このためには、観光客を増やすこと、ツーリズムシステムの創造も有効となり、2つのシステムが相乗的効果を生み出す方法を考案してもらいたい。</p> <p>◎全体として受身の印象を受けた。行政の立場からすると、このような運営が限界かと思われる。町の商工会議所、若手経営者（仮称）等との他の組織や団体との連携、協働によって、より事業の拡充を目指していただきたいと思う。ぜひ、行政組織を超えた、他組織や団体を巻き込んだ、ご検討をいただくことを期待したい。</p> <p>◎最終的には、昨今話題の「B級グルメ」に出品できるような商品が出れば良いと思う。町への来客数が増大する様々なアイデアを聞いてほしい。</p> <p>◎インターネットに力を入れてみてはどうか。</p>			

3	高鍋湿原		評価判定	
			拡充	
方向性に関する提言	事業の実施	◎来場者に現況のように整備された環境を提供していただきたい。	1次評価	外部評価
			現状維持	現状維持
方向性に関する提言	コスト	◎入場者からいくらかでも寄附してもらえるようにして、パンフレットの費用にあてるなど工夫してもよいのではないか。 ◎県と交渉して（県所有地が7～8割もあるので）不足分の予算を引っぱってこれるように努めてほしい。 ◎町のお金だけでなく、県から、来訪者からお金を集める工夫をしていただきたい。 ◎設備の維持・管理等はしっかりしていただきたい。	1次評価	外部評価
			拡充	拡充
改善点等の提案	<p>◎高鍋高校、農業高校の生徒さんにボランティアのガイドなどを依頼して手伝ってもらったらどうか。</p> <p>◎高鍋温泉と湿原散策を結びつけて両者が活性化する方向を模索したらどうか。</p> <p>◎非常に貴重な湿原であり、一層の充実・拡充に向けた取り組みに期待をしたいと思う。経済的な負担については、県との交渉・調整等を踏まえ、高鍋町外からの支援を様々ご検討できればと思う。</p> <p>◎環境保全の志ボックス設置するのであれば、盗難防止等にも努めてほしい。また、来場者がけがをしないように、安全対策に今まで同様注意してほしい。</p> <p>◎近い将来、ボランティアの方々だけでは追いつかなくなると思うので、この貴重な湿原のため、県に呼びかけるなど力を入れてもらいたい。絶滅を防いでほしい。</p>			

4	食育推進事業		評価判定	
			拡充・現状維持 同数	
方向性に関する提言	事業の実施	<p>◎食育の定義が広すぎるように思う。もっと絞って、食物（米や野菜）を作ることから教えることも大切だと思われる。</p> <p>◎早急に対応してほしい。（母親学級時の教育に力を入れてほしいと思う）</p>	1次評価 拡充	外部評価 拡充・ 現状維持 同数
	コスト	◎必要があれば人員を増やして活動したほうが良いと思う（フードランナーの増員）。	1次評価 現状維持	外部評価 現状維持
改善点等の提案	<p>◎フードシステム（地元の1次製品の生産・加工・消費（調理）の連続化のことが地域経済づくりと関連していることを教えていくこと、すなわち、地産地消の意味を伝えていくことが重要ではないか。</p> <p>◎地域における社会教育として、食育に対する行政側からの支援の重要性を感じた。非常に限られた予算で、大変頑張っていると思う。職員の方々の強い思いが良く伝わった。ぜひ、今後における拡充を期待したい。</p> <p>◎お菓子が全て悪ではないが、それに含まれる成分等もしっかり教え、町内の団体に協力態勢を呼びかけ、町の子どもたちを健全に導いてほしい。</p> <p>◎町でやる必然性がよくわからない。取組んでいることへの敬意はあるが、家族が家族としてある為の基本の中に公が介入するのは、まるで戦後教育のような印象を受ける。</p> <p>◎食事が大事な事を伝える事は大事だと思います。健康福祉課で栄養士を雇って料理教室をしてみてもどうか。</p>			

5	米沢市・高鍋町少年少女交流会		評価判定	
			拡充	
方向性に関する提言	事業の実施	<p>◎対象者を増やすことを通じて、人口減少を食い止め町の発展を作り出すうえで、規模・費用を拡大していく必要があるのではないか。</p> <p>◎代表となった10名が体験した事を、町報等を利用して感想文などを掲載してほしい。</p> <p>◎人数はもう少し増やせれば良いと思う。体験は学校に持ち帰り発表するとか、体験できなかった人とシェアするチャンスも作って欲しい。</p>	1次評価	外部評価
	コメント	<p>◎自己負担を1～3万円程度してもらってもいいと思う。</p> <p>◎町としての支援額の増額をしていただきたい。</p> <p>◎受入時の予算をもう少し上げてもいいのではないか。</p>	現状維持	拡充
改善点の提案	<p>◎”誇りに思う”心をしっかり育てることは、高鍋町の発展に不可欠であると思う。人材育成の基本に関わる事業であると思うので、抽象的に捉えるのではなく、もっと確実に人材育成のレベル・質を目指した方がいいのではないのでしょうか。地元をしっかり根付く人材育成が大切だと思う。</p> <p>◎非常に素晴らしい事業を企画・運営されてこられてきたと感じました。ぜひ、学校関係の教職員の方々へノウハウを水平展開されて、体験できる子供達の人数を増やしていただきたいと思います。高鍋町における将来を担う人材育成の事業として一層の拡充をいただくことを期待しております。</p> <p>◎今年、文化・レジャーを推しているようなので、来年は、地元の特産物（フルーツ等）もプラスして文化を学び、地元の食材でバーベキューなどをして、町全体が関わるように検討してもらいたい。</p>			

6	企業誘致		評価判定	
			現状維持	
方向性に関する提言	事業の実施	◎県内・町内の起業家を育ててほしい。	1次評価 拡充	外部評価 現状維持
	コスト	◎高鍋町のセールスマンに、最少コストで最大の成果を得られるように頑張ってもらいたい。	1次評価 拡充	外部評価 拡充
改善点等の提案	<p>◎初年度の外部評価で企業誘致が取り上げられた時と比べ、委員会の意見などを取り入れていただいていることがよく分かった。さらに、地域経済づくりに向けて、地元企業の活性化も車の両輪として位置づけ、事業を展開していただきたい。</p> <p>◎高鍋町をはじめ宮崎県の気候・環境を活かした事業を展開している企業・組織に対して積極的なアプローチを継続いただきたい。そして、商工会議所や農業青年団、マスコミなどとも連携いただきたいと思う。</p> <p>また、地域振興の視点から、内発的開発として高鍋町として自ら新たな事業を興していく努力もしていただきたいと思う。ぜひ、内発的開発に成功していると思われる市町村を訪問することを期待したい。</p> <p>◎足元から（町民）の力を付け、しっかりとした土台作りで町が活性化していけば良いと思う。</p> <p>◎外の人利用もいいですが、コーディネーターについて役場の人も外から高鍋を見ていただきたい。外の人に分かること、内側から分かることの両面が欲しい。</p> <p>◎ハタダ工場は、設備が整っているだけに勿体無い気がする。町主催でフリーマーケット等を継続的に実施して、企業が決まるまでの期間を有効利用できないか。</p>			

7	地方バス路線維持事業		評価判定	
			現状維持	
方向性に関する提言	事業の実施	◎何かもっと工夫があると思う。色々な規則にしばられる行政の方々は大変だと思うが、過去の事例どおりの活動では何も解決できないと思う。	1次評価	外部評価
			現状維持	現状維持
改善点等の提案	コスト	◎削減できるよう、他の会社や制度を見て努力してほしい。 ◎縮小できる事が望ましい。	1次評価	外部評価
			現状維持	現状維持
改善点等の提案	◎交通弱者の存在を考えれば、現状維持になる。また、中長期的に見れば、公共交通が循環する時期がくると思われるので、その面からも維持していく必要がある。 ◎経済合理性の視点からだけでは判断の困難な事業かと思われる。中長期的な視点（10年～20年）から利用率と財政負担を踏まえた継続的な分析と検討が必要かと思う。 ◎小中学校の校区を考えてみてはどうか。鳴野地区、正祐寺辺りは東小の方が近いと思うので、中尾がバスで同程度の距離の鳴野は徒歩という事はなくなるようにした方が良いのではないか。			

8	防災事業		評価判定	
			拡充	
方向性に関する提言	事業の実施	◎アナログ無線が使えない状況を解消するための予算措置を伴う拡充は必要だと思う。	1次評価	外部評価
		◎先の大震災で得た情報を活用し、最悪な状況となっても行政からの情報発信を行えるような体制作りが必要だと思う。町民各自が意識を高められる工夫を続けてほしい。	拡充	拡充
	コスト	◎民間の自覚が第一と言われたが、それなら公的には縮小すればいいのではないか。「町は町民の防災には大して介入しません」と宣言されれば、町民の結束は固くなるかもしれない。	1次評価	外部評価
		◎自主防災地区の購入備品を、有事の際に使い回せるように各団体に管理してほしい。	現状維持	拡充
改善点等 の 提 案	<p>◎東北大震災のインパクトがあるうちに、津波や他の災害に対する防災意識を高める啓発活動が求められていると思う。</p> <p>◎東北大震災並みの津波を物理的に防ぐハードの建設は、財政的にかなりの困難が各地方自治体において予想される。限られた予算の中で台風、地震、津波等の災害前における事前体制・通知の整備、そして災害後の連絡・避難体制の整備・徹底が行政としての必要であると思われる。</p> <p>◎「災害前の体制」「災害への物理的建設等」「災害後の体制」に区分しながら、災害の規模毎でのシュミレーションを可能な限り行っていただきたい。また、常日頃から町民の方々との研修会等において、危機感を共有出来るコミュニケーションも重要である。</p> <p>◎発電機の設置、災害対策本部の高所（20m以上）への移動が必要である。</p> <p>◎町民の命にかかわる事なので、もっと力を入れていただきたい。町民が動かないのは町の中心が動かないからだと思う。</p>			

7. 今後の課題と改善への提言及び要望

(ア) 評価の対象とする事務事業について

- ◎事業選択について、今回、時間不足の感があったので予め十分な時間を確保できるよう工夫をお願いしたい。
- ◎審査対象事業数については、1日に3事業の審議が可能である。審査対象事業数については、9事業から12事業程度に増やしても良いかと思う。
- ◎事業選択時の「事業一覧」での事業内容だけでは、4つ選択するのに難しい。全事業の内部評価表の資料があればより良い事業選択ができると思う。
- ◎どれも興味深いもので、ほとんどは必要かと思ったが、取組みの姿勢の消極的なものには失望させられました。噂で「行政の人は、課が変わるから何の熱意も持たない。自分のミスにならない程度しか動かない」と聞いたことがあったが、少し納得した面もあった。
- ◎事業目標と成果の現実をよく調べないと評価は難しく、この会のあり方は、もう少し緻密に準備・説明をして欲しいと思った。
- ◎実際は、殆どの事業に必要性があると感じた。また、職員の方々の努力も伺えた。ただ、少し堅すぎるのではないかと感じた。「皆で力を合わせて高鍋を盛り上げ、守り、成長させていこう！」のような事業内容になることを望みたい。

(イ) 評価表及び補足資料について

- ◎成果指標と活動指標について未記入であった事業が複数あったが、この2つの指標は行政評価のなかでも最も重要なものであることを自覚してもらいたい。
- ◎両指標について、抽象的なケースと2つの間の区別が曖昧であったケースが見受けられたので、可能な限り具体的な指標を上げることと、両指標の区別を考えていただきたい。
- ◎補足資料があればより理解しやすいので、可能な限り準備をお願いしたい。
- ◎評価表の配布については、当日評価する事業分だけで良いと思う。事務局からは、当日の審査事業に関する評価表の配付、各委員の記載、事務局の回収でよいと思う。
- ◎中には成果指標など記入されていない事業もあったため、比較できず、活動の実態が掴めない事業があったので改善していただきたい。
- ◎評価表の委員評価を断定するには、現場、現状を自分の目で見ていなかったのが出来た。内部の人の応答も納得できない曖昧なものがあり、説明されてもこちらの見識のなさで理解できないこともあった。
- ◎より具体的な言葉を使うなど、評価シートの改善をしていただきたい。抽象的な問いには抽象的な回答しか出来ないと感じた。

(ウ) ヒアリング時における職員の対応について（説明能力等）

- ◎事務事業評価表の説明について、15分確保されたので時間を有効に使ってもらいたい。
- ◎大変真摯でご丁寧なご説明をいただいた。大変良かったと思う。

◎説明の能力というより、こちらからの予期せぬ質問に戸惑われた方もあった。事前に委員にも資料を配布し、ある程度の質疑内容を事前に事務局に連絡し、答弁の準備ができていれば、もっと充実した委員会議が出来たのではないか。

◎委員会に対する準備不足の観は否めません。(政策推進課)

(エ) その他

※ヒアリングの日程・時間等について

◎1日で3事業も可能だと思った。

◎今回は、短時間集中となったが、正直仕事の段取りが出来ず大変だった。今後は委員の仕事の事も考慮していただきたい。前年度記入した同様、週1回、1～2事業、2～3時間、夏期(9月中)に行うのであれば、夕方4～5時から開催してもらえると両立でき、負担が少なくなるので助かる。

◎連日の日程設定は、勤務先の職務遂行上において無理が生じる。1週間に2日程度の日程としていただければ無理がないかと思う。

※委員会の進行等について

◎新商品開発事業は高鍋町の地域経済づくりの中核的事業であること、防災事業は時宜を得ている事業であること、米沢市との交流事業は高鍋町の地域特性を表している事業であることが理解できた。

◎事前に、当日の意見を集約する時間があれば、各委員の思う所も知れるので良いと思う。

◎委員をあと2、3人増やし、1事業に対してもっと時間が取れれば、多くの意見が出て、別角度の視点も増えるので、会がもっと充実すると思う。

◎以前、県知事にお会いする事があり、知事から「しっかりした防災の事を考えなければいけませんね」と伺った。しかし、町役場の方は「基本的に、自分の命は自分で責任を」と言われて驚いた。県と町で命に対する認識にこれ程差があるのは何故か。理想はすべての県民・町民が手をつないで助け合う姿勢・心を持つことであり、そのためには役場でも積極的に動く必要があるのではないだろうか。

※報道について

◎委員会開催の冒頭で話したが、マスコミの入室・取材に関しては委員会の機関決議を踏まえて行っていただきたい。事務局においては、マスコミの各委員に対する年齢の質問や写真撮影等々、プライバシーに関わる取材が発生しているので、機関決議という「手続き」を重視した対応をお願いしたい。